

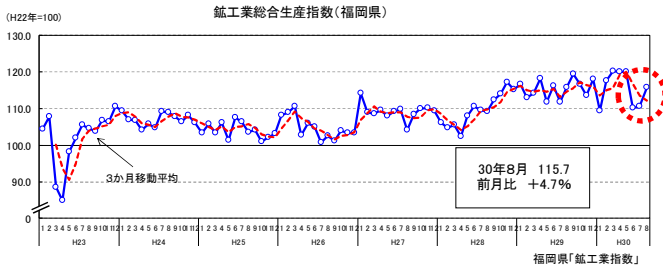
ふくおかの経済

平成30年10月号



生産 高水準で推移

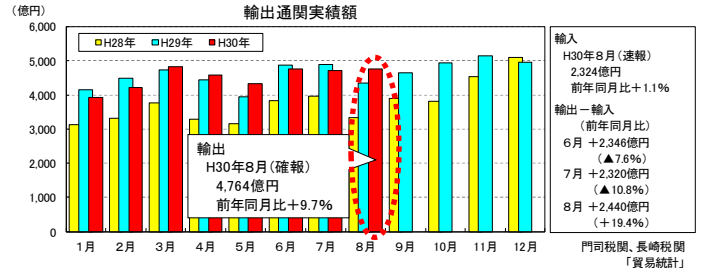
8月の生産指数は、輸送機械工業などが上昇して、2か月連続で前月を上回り、引き続き高水準で推移しています。



鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

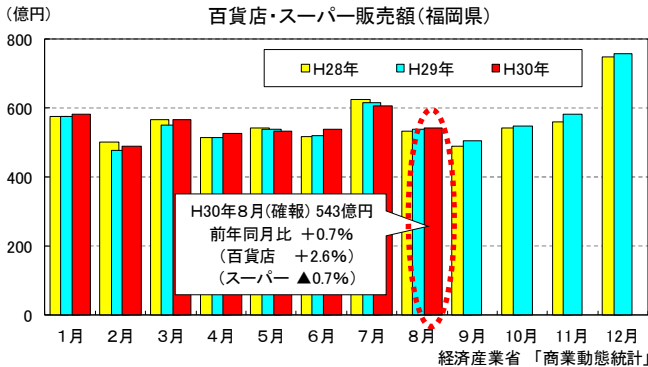
貿易 輸出は高水準で推移、輸入は緩やかに増加

8月の輸出は、中国向け半導体等製造装置などの増加により3か月ぶりに前年を上回り、引き続き高水準で推移しています。



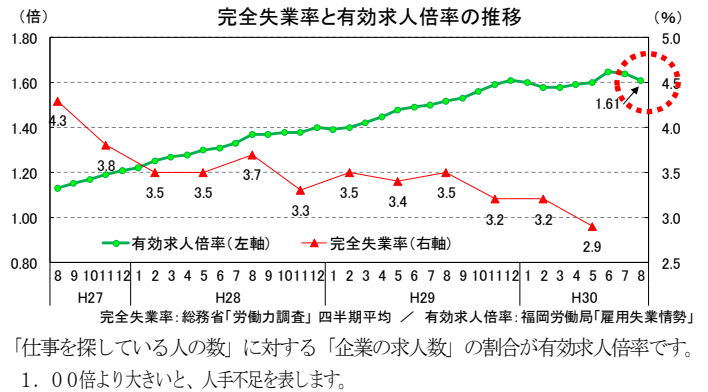
消費 緩やかに増加している

8月の百貨店・スーパー販売額は、猛暑によるUV関連商品や飲料に加え、化粧品・高額品の動きがよかったことなどから、2か月ぶりに前年を上回りました。



雇用 着実に改善が進んでいる

8月の有効求人倍率は1.61倍と、2か月連続で前月を下回ったものの、過去最高の水準で推移しています。



今月のトピック 福岡県における新設住宅建設の経済効果

- 住宅は人生最大の買物といわれており、家具など関連消費も大きいことから経済に与える影響も大きくなっています。住宅建設が福岡県経済に与える影響(経済波及効果)について近年の住宅着工状況(年4万戸程度)を踏まえて算出しました。
- 「持ち家」、「貸家」といった利用関係別1戸あたりの経済波及効果をみると、床面積が比較的広いものが多い「持ち家」の経済波及効果が大きくなっています(図1)。
- 福岡県における利用関係別の着工状況を踏まえて、県内で年間に4万戸の住宅が建設される場合の県内への経済波及効果を算出すると、直接効果が5479億円で、間接波及効果を含めると約1.6倍の8624億円まで増加します(図2)。

図1 利用関係別経済波及効果(1戸あたり)

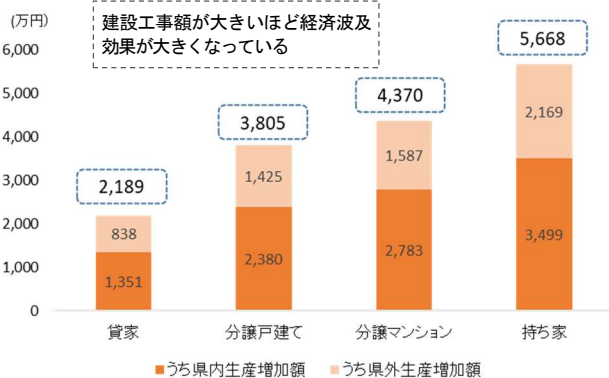


図2

住宅建設の県内への経済波及効果

